

ISSN-0461-6898

名城法学

第72卷 第1・2合并号

柳 勝司教授 退職記念号

名城大学法学会

2022

柳 勝司教授 退職記念号



柳 勝司 教授

献 呈 の 辞

長きにわたり本学の民法担当教授としてご活躍された柳勝司先生が、令和4（2022）年3月31日をもって、名城大学を定年退職されました。ここに、名城法学を退職記念号として柳先生に献呈することによって、名城大学、そして法学部に対する先生の多大なるご貢献に対して、感謝の念を表したく存じます。

柳勝司先生は、昭和63（1988）年4月に名城大学法学部法学科に民法学担当の助教授としてご着任されて以来、34年間の長きにわたり、法学部での教育・研究に精進されました。平成3（1991）年4月に教授に昇任され、平成16（2004）年の法務研究科（法科大学院）設置時には、学部のみならず法科大学院でも教鞭をとられ、法曹の養成にも尽力されました。また、法学部では、協議員を2年間、学科長を計6年間務められました。

学外においては、平成7年10月から名古屋家庭裁判所調停委員を約22年間務められ、平成26年10月には、最高裁判所長官表彰を受けられました。また、愛知県弁護士会懲戒委員会委員（約14年間）、愛知県公害審査委員（約9年間）などを歴任されたご功績から、平成30年5月には、内閣府から藍綬褒章を受けられています。

柳先生のご研究は、民法学の多岐な分野にわたりますが、2本柱として、委任契約及び代理に関する研究と遺言に関する研究があります。

第1に、委任及び代理に関する研究に関しては、その成果の集大成として著書『委任による代理』（成文堂、2012年）が出版されています。柳先生は、ドイツ法の影響を受けている独自の代理権授与行為の存在を認める多数説に対して、旧民法及びその母法であるフランス民法、さらに起草者の見解などの分析を踏まえて、現在多数説が主張する代理権授与行為の独立した存在を否定し、委任により代理は発生するという独自の立場を採られています。この主張は、実務に適合した解釈として学界に一石を投じた研究と評価されています。また、これまでの委任と代理に関する研究を

踏まえて、さらに著書『受任者の忠実義務』（嵯峨野書院、2021年）を刊行されました。

第2に、遺言に関する一連の研究業績として、判例・学説を詳細に分析したうえで、独自の理論を構築されておられます。柳先生のご研究は、わが国における蒼々たる民法研究者が執筆している『民法典の百年第4巻』（有斐閣、1998年）に、執筆者として名を連ねておられることから明らかに、学界からも高く評価されています。

そのほか、近時の所有者不明土地問題解決に向けた民法物権法・不動産登記法の改正や民法相続法の改正を先取りしたテーマについてもかなり以前から取り組まれており、時代の変化に敏感で実務を常に意識した研究姿勢は、先見の明を感じさせるものといえるでしょう。

30年以上にわたる本学での教育については、大学生が理解に苦勞する民法学の講義において、平易な文章で、かつ具体例やコラムを取り入れた先駆的な教科書を執筆・編集し、サブノートも教材として作成・活用されるなどの工夫をされました。また、ゼミナールでは、公務員希望者や留学生に対する教育に熱心に取り組まれ、人気ゼミの1つとして多くの学生から慕われました。また、大学院においても、行政書士向けにゼミ形式での特別講義を開講され、毎年、多数の受講生からの好評を集めました。

こうした柳先生の功績が認められ、令和4（2022）年4月より、名城大学名誉教授の称号を授与されています。

柳勝司先生には、法学部教職員一同、今後ともご友誼を賜りたく、併せて、率直なご高見を承りたく存じます。先生の、これからのご健勝と、ますますのご発展を祈念申し上げます。

令和4年10月

名城大学法学会 会長／法学部長

伊 川 正 樹

献呈の辞	i
------------	---

論 説

錯誤者の重過失不顧慮規定

(民法 95 条 3 項 1 号・2 号) に関する一考察

.....	川 元 主 税	1
-------	---------	---

自筆証書遺言における押印要件と花押	熊 谷 久 世	31
-------------------------	---------	----

子の引渡し請求事件手続の多重化に伴う子の負担軽減に関する一考察

—— 人身保護請求事件判例（最高裁平成 30 年 3 月 15 日判決）を 素材として ——	佐 藤 千 恵	57
---	---------	----

他人物売買と売主の義務に関する序論的考察

.....	杉 浦 林太郎	97
-------	---------	----

税負担に関する錯誤	野 口 大 作	121
-----------------	---------	-----

台湾における成年監護制度の法改正及び現状についての検討

.....	劉 涓 汶	149
-------	-------	-----

弁護士職務基本規程 57 条違反に基づく

訴訟行為の排除を求める申立ての可否	柳 沢 雄 二	183
-------------------------	---------	-----

現代国際法における強行規範（Jus cogens）の機能

—— その「規範的機能」との関連で ——	佐 藤 一 義	203
----------------------------	---------	-----

翻 訳

台湾民法の盗品の善意取得に関する改正

.....	陳 添 輝	254
-------	-------	-----

松 田 恵美子(訳)

中華民國民法の台湾施行後の女性の権利に関する変革	黄 淳鈺	280
	松 田 恵美子(訳)	
柳 勝司教授 略歴・著作目録		281

前号目次(第71卷 第3・4号)

論 説

不作為による死体遺棄

—— 作為義務の検討を中心に ——

…………… 萩野貴史 …… 1

イギリス契約法における損害の遠隔性の新たな動向

—— Global Water 事件をもとに ——

…………… 川元主税 …… 39

所有権侵害の不法行為に関する一考察

—— 即時取得の不成立と不法行為責任の交錯 ——

…………… 杉浦林太郎 …… 85

判例研究

カードすり替え窃盗について窃盗罪の実行の着手を認めた裁判例

(宇都宮地足利支判令和3年3月17日 LEX/DB25569194)

…………… 二本柳 誠 …… 109

資 料

「鈴木九萬日記」補遺

—— 1945年8月29日～10月30日 ——

…………… 矢嶋 光 …… 137

法学会記事

名城大学法学会規約

評 議 員 (五十音順)

会 長	伊 伊	川 藤	正 博	樹 路		西 二	村 柳	貴	裕 誠
	伊 植	藤 木	博 亮	吉 淳		野 萩	口 野	大 貴	作 史
監 査	假 河	屋 北	篤 洋	子 介	庶 務 委 員	松 長	川 野	乃 亮	理 輔
編 集 委 員	川 川	原 元	勝 主	美 税		平 前	井 田	智 恵	彦 子
	川 北	見 藤	宏 主	敦 介		松 松	本 嶋	俊 美	太 光
会 計 委 員	近 笹	岡 藤	克 一	義 人		矢 柳	澤 沢	雄 敦	武 二
編 集 委 員	佐 庄	村 田	比 太	義 人	庶 務 委 員	柳 山	沢 沢	祐 忠	子 子
	代 杉	浦 松		義 人		山 山	沢 沢	幾 幾	弘 真
庶 務 委 員	高 澁	谷 田		義 人		山 山	下 本		互 互
会 計 委 員	仁 井	谷 田		義 人		古 渡	行 邊		
庶 務 委 員				義 人					

執筆者 (掲載順)

川元主税	名城大学法学部教授
熊谷久世	沖縄国際大学法学部教授
佐藤千恵	京都府立大学公共政策学部教授
杉浦林太郎	名城大学法学部准教授
野口大作	名城大学法学部教授
劉涓汶	名城大学法学部特任助手
柳沢雄二	名城大学法学部教授
佐藤一義	名城大学法学部教授
陳添輝	世新大学法学部教授
黄淳鈺	真理大学法律学系副教授
松田恵美子	名城大学法学部教授

名城法学 第72卷 第1・2合併号

令和4年11月10日印刷

令和4年11月17日発行

〒468-8502

名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

編集兼 名城大学法学会
発行者 代表者 伊川正樹

〒466-0025

名古屋市昭和区下槌町2-22

印刷所 株式会社一誠社

Articles

Exceptions to the Gross Negligence Rule of Mistaken Party: A Critical Study of Civil Code Art.95(3) (i) (ii)	Chikara KAWAMOTO	1
The Requirement of the Stamp in a Will by holographical Document and "KAO (written seal mark)".	Hisahiro KUMAGAI	31
Study on Reducing Psychological Burden on Children due to Multiplicity of Procedures for Claiming Return of Children	Chie SATO	57
Sale by person not the owner and duties of the seller	Rintaro SUGIURA	97
Mistake of Tax Obligation	Daisaku NOGUCHI	121
Legal Reform of the Adult Guardianship System in Taiwan and the Current Situation in Taiwan	Jywan-Wun LIOU	149
Availability of Petition to exclude the Litigation Acts based on the Breach of Article 57 of the Basic Rules on the Duties of Practicing Attorneys	Yuji YANAGISAWA	183
The Functions of Jus Cogens in Modern International Law —With Special Reference to its "Normative Functions"—	Kazuyoshi SATO	203

Translations

Amendment to the Article of Civil Law about innocent Possession of stolen Goods in Taiwan Tian hui CHEN/ 254
	Emiko MATSUDA
The Change of Women's Rights after Effect of Civil Law in Taiwan Chun yu HUANG/ 280
	Emiko MATSUDA

MEIJO HOGAKU

MEIJO LAW REVIEW

Vol. 72 No. 1•2 2022

Published Quarterly by
The Meijo University
Law Association